

第5期森林環境税 (R5~R9) の目標の進捗状況について

林業環境政策課

資料 2



第5期森林環境税では、次の2つの事業を柱に取組を進めるとし、それぞれの事業内容に応じた目標を設定しています。

1. こうちの森で人づくり事業：幼保・小中学校などで行われる森林環境学習や「こうち山の日」の活動、県民に身近な場所の緑化の支援など
2. 豊かな森づくり事業：民間事業者等が実施する公共施設の木質化などの木材利用や、野生動植物との共存を図る取組の支援など

1. こうちの森で人づくり事業

(1) 森林環境税活用事業により目指す目標

森林環境学習の 参加者数 (単位：人)	第4期計		R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
	—	目標	12,500	12,900	13,300	13,700	14,100	66,500
	51,335	実績	13,524	15,095	16,108			44,727

【主な成果、今後の取組】

山の学習支援事業を活用する市町村・学校数、参加者数とも増加している。山の一日先生派遣事業の団体数も増え、派遣対象地域も広がっている。令和8年度から総合的な学習の対象を幼稚園・保育所（3歳児以上）に拡大し、子どもたちの森林体験機会を創出する。

森林保全ボランティア等 の参加者数 (単位：人)	第4期計		R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
	—	目標	6,000	7,250	8,500	9,750	11,000	42,500
	30,666	実績	8,431	7,822	5,969			22,222

森林保全ボランティア団体の掘り起こしや活動支援、各森林保全ボランティア団体の継続努力によって、一定の参加者数を維持し続けている。新たな参加者の増加に向けて、ホームページやSNSを活用した広報を展開していく。

(2) 県全体の施策の目標 (産業振興計画※)

林業就業者数 (単位：人)	R4 (参考)		R5	R6	R7	R8	R9
	—	目標	—	1,690	1,690	1,690	1,690
	1,601	実績	1,600	1,604	(集計中)		



2. 豊かな森づくり事業

(1) 森林環境税活用事業により目指す目標

県産木材利用促進に係る 事業の実施箇所数 (単位：件)	第4期計		R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
	—	目標	20	22	25	27	30	124
	86	実績	11	15	7			33

【主な成果、今後の取組】

目標には達していないが、関係団体を通じたPR活動を行った結果、令和7年度は「ぶらっとホームMOKU大丸」「東横イン高知」「高知商工会議所」といった県民の目に触れる機会が多く、県産材のPR効果が見込まれる施設へ支援を行うことができた。今後も、幅広い業界へのPRを実施していく。

森林環境税活用事業 における二ホンジカ の捕獲頭数 (単位：頭)	第4期計		R5	R6	R7	R8	R9	第5期計
	—	目標	3,560	3,560	3,560	3,560	3,560	17,800
	9,415	実績	3,201	3,019	(集計中)			6,220

指定管理鳥獣捕獲等事業をはじめとする様々な事業を実施することにより、二ホンジカの捕獲頭数は、概ね目標に達している。令和8年度から森林保全環境対策シカ捕獲事業の対象市町村にいの町を追加し、二ホンジカの捕獲頭数を増やし、石鎚山系へのシカの流入を防ぐ。

(2) 県全体の施策の目標 (産業振興計画※)

県内における 非住宅木造建築物の棟数 (単位：棟)	R4 (参考)		R5	R6	R7	R8	R9
	—	目標	—	109	113	117	121
	106	実績	111	89	105		



※産業振興計画の改定により、目標の項目や数値がR5当初から変更されています。